

# テスト設計コンテスト U-30 クラス – アピールシート

チーム ID	S250527001	チーム名	尚文クラブ
--------	------------	------	-------

## チームの紹介

この項目ではチームやメンバーの紹介、チーム全体の基本コンセプトを記述します。

### チーム紹介

新入社員2名を含めた若手社員計6名で構成。

<チーム名の由来>

私たち全員が同じ課に所属しており、課長の名前がチーム名の由来となっている。課内の雰囲気はとても温かく包容力があり、チームにもその精神を継承している。

私たちのチームは、個々の意見やアイデアを大切にし、全員が参加できる環境を作ることに力を入れている。メンバーが自由な発想で意見を出し合うことにより、多角的な視点から作業に取り組むことができる。また、チーム内は親しみやすく、和気あいあいとした雰囲気である。

### 全体のコンセプト

開発担当者やインフラ担当者など幅広い分野のメンバーで構成されており、テストを専門業務としたメンバーはいないが、それぞれの専門性を活かして各成果物を作成している。特に資料作成においては、誰が見ても理解できるように「わかりやすさ」を重視しており、技術的な内容や複雑な情報を、専門外の方にも理解できるように簡潔かつ明瞭に表現することを意識している。

チーム全員で入念なディスカッションを行うことを大切にしており、各メンバーが自分の意見を自由に述べ合い、意見交換を通じて学び合うプロセスを重視している。

### チームのテスト設計の強み・アピールポイント

・リスクベースドテストを採用しており、テストケースの優先順位を決定することで重大な欠陥を早期発見することができる。また、リスク分析を行ったことにより、リスクの高い領域に対して重点的にテストを行うこともできる。

・全ての成果物において、全メンバーにてディスカッションを行っているため、一貫性が取れた資料となっている。

※ 全体でA4縦 4 ページに収まるように記述してください。

## チームの戦略・方針

---

この項目では、チームの作業の進め方や成果物の特徴を、設問に従って記述します。他文書（審査対象の成果物など）への参照で記述しても構いません。

### プロセスの説明

チームのテスト設計のプロセス(テスト要求分析・テスト詳細設計といったアクティビティと、テストケースといった成果物の関連性)の全体像を、モデル(PFD やアクティビティ図など)や文章で示してください

チームのテスト設計のプロセスの全体像を PDF にまとめた。  
成果物 0「尚文クラブ\_成果物 0\_成果物全体像.pdf」参照。

テストベースからテストケースやテスト手順までのトレーサビリティをどのように確保しているか説明してください

全ての成果物に ID を付与しており、双方向に追跡可能となっている。  
成果物ごとの関連性については、成果物 0「尚文クラブ\_成果物 0\_成果物全体像.pdf」参照。

※ 全体でA4縦 4 ページに収まるように記述してください。

## テストの構造の説明

採用したテストアーキテクチャが一般的なものより優れているポイントを記述してください

- ・重大な欠陥を早期に発見できる
- ・テスト工数を削減する必要がある場合に削減すべきリスクの低いテストケースを判別できる

テストベースに対する網羅性の確保(目的を満たすようにテストベースを網羅する)で、どのような工夫をしたか記述してください

- ・テスト要求分析フェーズにて画面一覧・機能一覧を作成し、テスト対象を確認した。
- ・作成した資料については全て ID を付与することにより、トレーサビリティを確保し、漏れや抜けをチェックしやすい仕組みを構築した。

テストベースに対するピンポイント性の確保(無駄なテストを作らない)で、どのような工夫をしたか記述してください

各機能に対して、要求補足書記載のチームのテスト責務に従ってテスト対象か否かを判断し、その理由を検討した上でテスト対象を選定した。

複数の OS・機種により動作確認を行う設計となっているため、シェア率や画面サイズをもとにデバイスの選定を行い、無駄なテストケースを除外した。

※ 全体でA4縦 4 ページに収まるように記述してください。

### 活用した技法や手法の説明

以下のテスト設計技法のうち、今回使用したものを選択してください(記述内容のうち、使用した技法を残し、使用していないものを削除してください。各定義は JSTQB に従います)

境界値分析、リスクベースドテスト、探索的テスト

テスト設計についての既存の方法論(HAYST 法、VSTeP、ゆもつよメソッドなど)や体系(ISO29119、STEP など)で、今回使用したものがあれば記述してください

無し